

二月二十八日

風船ゆつて、先生あのおいし

村田智子

この間の夜、パパと、わたし  
 と、ママと、お兄ちゃん、風  
 船ゆつておりました。  
 パパがおしりでゆつても、マ  
 マがおしりでゆつても風船は、  
 わたしとぶひはねた。  
 ハハカとぶひはねると風船は、  
 トランボリンみたいになり、  
 コぶよんし  
 とゆつておいはねます。  
 ゆたしとお兄ちゃん、足をの  
 けよんとおみたらまた、  
 コぶよんし  
 とゆつておいはねます。  
 かかり番こでどんどんつぶし  
 て、いっつても、コぶよんし

●子どもの作文から 二年生 ●



を、少したってから、風船  
 を見ると、なすみたいな形にな  
 っていきました。  
 それからまた、足をどたばた  
 させて、タオルをかけてお兄ち  
 ゝんとぶよんつけたら、  
 フンとぶよんつけたら、  
 とわらわしてしましました。  
 わたしは、何かがおちたかと  
 思いました。  
 あんなにおしりの大きいまま  
 ても、お水なかつたので、とつて  
 も楽しい夜でした。